

平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月29日

上場会社名 株式会社ウェザーニューズ 上場取引所 東
 コード番号 4825 URL http://www.weathernews.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)草開 千仁
 問合せ先責任者 (役職名)SRコーナー(広報・IR)リーダー (氏名)北川 堅 (TEL) 043(274)5536
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年5月期第1四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年8月31日)

(百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	3,131	3.6	684	4.2	711	12.5	474	21.3
26年5月期第1四半期	3,023	△1.1	656	0.6	632	△2.4	391	△3.3

(注) 包括利益 27年5月期第1四半期 452百万円(2.2%) 26年5月期第1四半期 443百万円(16.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第1四半期	43 70	43 63
26年5月期第1四半期	36 06	35 98

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年5月期第1四半期	11,351	10,163	89.5
26年5月期	11,891	10,090	84.9

(参考) 自己資本 27年5月期第1四半期 10,163百万円 26年5月期 10,090百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	— —	25 00	— —	35 00	60 00
27年5月期	— —				
27年5月期(予想)		30 00	— —	30 00	60 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,500	5.5	1,500	4.2	1,500	3.9	1,000	11.8	92 02
通期	13,700	3.0	3,500	7.1	3,500	6.3	2,100	12.1	193 26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー 社 ()、除外 ー 社 ()
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年5月期1Q	11,844,000株	26年5月期	11,844,000株
27年5月期1Q	977,900株	26年5月期	977,900株
27年5月期1Q	10,866,100株	26年5月期1Q	10,855,850株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第1四半期の概況

気象サービスの市場規模は全世界で6,000億円以上と想定されます。気象リスクへの関心の高まりとネット技術の発展によって、気象サービス市場は今後も成長を続けると当社は考えています。

当社では「71億人の情報交信台」という夢のもと、第1成長期(1986年6月から1995年5月)は「事業の成長性」、第2成長期(1995年6月から2004年5月)は「ビジネスモデルの多様性」、第3成長期(2004年6月から2012年5月)は「経営の健全性」をテーマとし、事業活動を行ってきました。当期は、「革新性」をテーマに掲げ本格的なグローバル展開を目指す第4成長期の3年目として、下記項目に取り組んでおります。

〈1〉 市場面－重点事業への注力

・ BtoB市場－交通気象

航海気象：OSR(Optimum Ship Routeing)サービスの展開

航空気象、道路気象、鉄道気象：国内サービスの強化とアジア市場への本格展開

・ BtoS市場－ウェザリポーターネットワークのグローバル展開

〈2〉 無常識な気象インフラ、テクノロジーの開発と展開

・ 独自の超小型衛星を利用した北極海海氷等の観測

・ 観測対象毎に特化した専用レーダー (WITHレーダー、TSUNAMIレーダー、強風レーダー)

当第1四半期の連結売上高は 3,131百万円と、前年同期比 3.6%の増収となりました。航海気象を中心にツールゲート売上高が伸び、BtoB市場全体では前年同期比13.0%の増収の 1,758百万円となりました。一方、BtoS市場ではモバイル・インターネットのツールゲートが増収となったもののSRS (Stage Requirement Settings) の減少が大きく、BtoS全体では前年同期比 6.4%の減収の1,373百万円となりました。

BtoB事業の増収などにより営業利益は前年同期比 4.2%増益の 684百万円となりました。為替差益27百万円を計上したため、経常利益は前年同期比12.5%増益の711百万円となりました。復興特別法人税の廃止に伴い法定実効税率が低下し、四半期純利益は前年同期比21.3%増益の 474百万円となりました。

②市場別の状況

当第1四半期連結累計期間における市場別売上高は以下の通りです。当社は継続的にコンテンツを提供するトールゲート型ビジネスを主に展開しています。一方、将来のトールゲート売上につながる一時的な調査、システム・インテグレーションサービスを顧客に販売する機会があり、当社はこれらのビジネスを SRS (Stage Requirement Settings) と称しております。

市場区分	前第1四半期 連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日) (百万円)			当第1四半期 連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日) (百万円)			増減率 (%) 合計
	SRS	トールゲート	合計	SRS	トールゲート	合計	
交通気象	0	1,083	1,084	15	1,239	1,254	15.7
交通気象以外	2	469	471	4	499	503	6.8
BtoB市場	3	1,552	1,556	19	1,738	1,758	13.0
モバイル・インターネット	90	839	929	12	859	871	△6.2
その他メディア	37	500	537	9	491	501	△6.7
BtoS市場	127	1,339	1,466	22	1,351	1,373	△6.4
合計	130	2,892	3,023	42	3,089	3,131	3.6

(参考) 地域別売上高

	前第1四半期 連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日) (百万円)			当第1四半期 連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日) (百万円)			増減率 (%) 合計
	SRS	トールゲート	合計	SRS	トールゲート	合計	
日本	130	2,329	2,459	42	2,402	2,444	△0.6
欧州	-	292	292	-	365	365	25.0
アジア・豪州	-	194	194	-	248	248	27.4
米州	-	75	75	-	72	72	△4.0
合計	130	2,892	3,023	42	3,089	3,131	3.6

〈BtoB (企業・法人) 市場〉

BtoB市場においては社会のインフラとして企業のニーズが高く、かつグローバルな成長が見込まれる交通気象（航海気象、航空気象、道路気象、鉄道気象）を重点事業と位置づけております。なかでも、当社サービスの原点である海運会社向け航海気象では、安全性を向上すると同時に燃料消費量を抑え、運航効率を改善するOSR(Optimum Ship Routeing)をコンテナ船、自動車船、ばら積み船およびタンカー向けに展開しています。

当第1四半期は海運市場で順調に荷動きが回復したことに加え、燃料節約に対する需要が依然として高かったため、当社のOSRを採用する航海が増加しました。航空気象においてはヘリコプターの動態管理システム「FOSTER-copilot」の採用が進みました。鉄道気象では「通告サポート」が順調に拡大しました。これらの結果、交通気象の売上高は前期比15.7%増収となり、BtoB市場全体の売上高は13.0%増収の1,758百万円となりました。

〈BtoS（個人・分衆）市場〉

BtoS市場では、サポーター参加型の気象コンテンツ作りを加速しました。当社の独自レーダーとサポーターの情報からゲリラ雷雨を予測し、ほかのサポーターに情報を提供する「ゲリラ雷雨防衛隊」は、サポーターとともに作る当社のコンテンツとして広く認知されています。8月の台風などの影響により、当第1四半期のモバイル・インターネットのターゲット売上高は前期比増収となりましたが、放送局向けの機器などSRSが減収となり、BtoS市場全体の売上高は6.4%減収の1,373百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第1四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末とほぼ同額の11,351百万円となりました。また、負債合計額は未払法人税等の支払いなどにより、前連結会計年度末に比べて613百万円減少し1,187百万円となりました。純資産合計額は、前連結会計年度末の配当380百万円を行う一方で、四半期純利益474百万円を計上したことなどにより、前連結会計年度末に比べて72百万円増加し、10,163百万円となりました。

これらにより、自己資本比率は89.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等740百万円を支払う一方で、税金等調整前四半期純利益717百万円を計上したことなどにより88百万円の支出（前年同期631百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産や無形固定資産の取得による支払などにより183百万円の支出（前年同期154百万円の支出）となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払329百万円により329百万円の支出（前年同期297百万円の支出）となりました。

以上により、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は4,541百万円（前年同期3,145百万円）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

〈交通気象を中心とする重点事業への注力とグローバル展開〉

・BtoB（企業・法人向け）市場

航海気象では引き続きOSRをグローバルに展開します。なかでも、ばら積み船およびタンカーでのOSR採用航海が増加すると見込まれます。コンテナ船では既存顧客を中心にCSR（Coastal Ship Routeing）の採用が本格化すると見られます。航空気象、道路気象、鉄道気象では国内のサービスを強化するとともに、アジアを中心としたマーケティングを加速させます。

・BtoS（個人・分衆向け）市場

「ゲリラ雷雨防衛隊」に続いて、台風や大雪などの気象リスクが高まる時季にサポーター参加型コンテンツを充実し、気象情報を他のサポーターに伝えて被害を抑え、有料会員数の増加につなげます。世界的に普及が進むスマートフォンに対応したグローバルアプリの機能強化やAPI（Application Program Interface）の提供を通してグローバルにサポーターの裾野を広げていきます。

〈新たな価値を創るテクノロジー、インフラ展開〉

重点事業を加速させるために、革新的なインフラの整備に継続的に取り組みます。独自の超小型衛星「WNISAT-1」のミッション変更にともない、2015年には「WNISAT-1R」を打ち上げる計画です。「WNISAT-1」「WNISAT-1R」にとどまらず、次期衛星の開発にも着手します。

こうした取り組みの結果として、2015年5月期は、売上高13,700百万円、営業利益3,500百万円、経常利益3,500百万円、当期純利益2,100百万円と見込んでいます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,172,484	4,543,938
受取手形	31,814	61,720
売掛金	2,817,668	2,839,966
商品	1,347	1,251
仕掛品	21,675	132,239
貯蔵品	96,985	102,370
繰延税金資産	98,498	44,802
その他	165,279	204,058
貸倒引当金	△87,917	△89,475
流動資産合計	8,317,835	7,840,872
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	852,405	839,129
工具、器具及び備品(純額)	563,029	567,217
土地	413,062	413,062
建設仮勘定	106,258	136,946
その他(純額)	6,291	5,677
有形固定資産合計	1,941,047	1,962,034
無形固定資産		
ソフトウェア	692,713	748,368
ソフトウェア仮勘定	98,686	37,088
その他	26,532	26,488
無形固定資産合計	817,931	811,944
投資その他の資産		
繰延税金資産	209,797	140,083
その他	605,500	596,240
貸倒引当金	△124	△124
投資その他の資産合計	815,173	736,200
固定資産合計	3,574,153	3,510,179
資産合計	11,891,988	11,351,051

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	163,660	192,194
リース債務	10,895	10,895
未払金	339,638	337,779
未払法人税等	816,990	191,631
関係会社整理損失引当金	9,566	2,961
その他	448,119	442,695
流動負債合計	1,788,869	1,178,158
固定負債		
リース債務	12,099	9,375
その他	391	405
固定負債合計	12,490	9,781
負債合計	1,801,360	1,187,940
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,706,500	1,706,500
資本剰余金	944,682	944,682
利益剰余金	8,448,685	8,543,319
自己株式	△1,061,968	△1,061,968
株主資本合計	10,037,899	10,132,533
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	52,727	30,577
その他の包括利益累計額合計	52,727	30,577
純資産合計	10,090,627	10,163,111
負債純資産合計	11,891,988	11,351,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
売上高	3,023,026	3,131,804
売上原価	1,698,987	1,764,047
売上総利益	1,324,038	1,367,756
販売費及び一般管理費	667,404	683,472
営業利益	656,634	684,283
営業外収益		
受取利息	1,171	1,703
受取配当金	756	936
為替差益	-	27,697
その他	641	648
営業外収益合計	2,568	30,985
営業外費用		
支払利息	285	-
コミットメントライン関連費用	3,758	3,691
為替差損	12,212	-
固定資産除却損	10,386	1
その他	124	154
営業外費用合計	26,767	3,848
経常利益	632,435	711,420
特別利益		
関係会社清算益	-	9,317
特別利益合計	-	9,317
特別損失		
関係会社投資等評価損	-	3,000
特別損失合計	-	3,000
税金等調整前四半期純利益	632,435	717,738
法人税、住民税及び事業税	201,629	119,694
法人税等調整額	39,313	123,097
法人税等合計	240,943	242,791
少数株主損益調整前四半期純利益	391,492	474,947
四半期純利益	391,492	474,947

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	391,492	474,947
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	51,754	△22,150
その他の包括利益合計	51,754	△22,150
四半期包括利益	443,246	452,797
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	443,246	452,797
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	632,435	717,738
減価償却費	133,521	135,282
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△276	1,950
受取利息及び受取配当金	△1,927	△2,639
支払利息	285	-
コミットメントライン関連費用	3,758	3,691
固定資産除却損	10,386	1
関係会社清算益	-	△9,317
関係会社投資等評価損	-	3,000
売上債権の増減額(△は増加)	262,286	△52,203
たな卸資産の増減額(△は増加)	△46,596	△115,854
仕入債務の増減額(△は減少)	19,356	28,534
その他	104,750	△60,675
小計	1,117,980	649,509
利息及び配当金の受取額	1,858	2,585
利息の支払額	△259	-
法人税等の支払額	△488,277	△740,281
営業活動によるキャッシュ・フロー	631,301	△88,187
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△62,930	△133,392
無形固定資産の取得による支出	△92,444	△50,916
敷金及び保証金の差入による支出	△521	△8,486
敷金及び保証金の回収による収入	1,325	9,436
投資活動によるキャッシュ・フロー	△154,570	△183,359
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△5,000	-
配当金の支払額	△294,101	△329,494
自己株式の売却による収入	2,346	-
その他	△427	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△297,182	△329,494
現金及び現金同等物に係る換算差額	52,899	△27,574
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	232,446	△628,615
現金及び現金同等物の期首残高	2,913,410	5,170,550
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,145,857	4,541,934

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社および連結子会社は気象情報を中心とした総合的なコンテンツ提供サービスを事業内容としており、当該事業の単一セグメントであります。そのため、セグメント情報については記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。